

いきいき萌丘ささき重信通信

発行：萌丘幼稚園 萌丘東幼稚園 萌丘東保育園 いきいき萌丘東ノ郷 市議 佐々木重信（電話 82—1255）

嘘づくりことは直して欲しい思いで辞めて頂いたのに、政治的いじめと云うかあまりにも酷いです、これでは精神的に病気になってしまいます-----それは、今年5月22日午後3時のことでした。厨房を綺麗にし、農園の作物を取ってつかって欲しいとお話したら、そんなに出来ない、それなら辞めると言い出しました。そしてその後、どう喝されて辞めろと云われたと嘘を言うのでした。このことが、今回の出来事のきっかけでした。

この職員は、令和4年9月1日から、午前7時から午後7時の労働時間で、厨房の仕事が出来るとの約束で採用されました。その後、出来ないとの不平の話もなく残業の請求もなく順調に過ぎておりました。ところが、前述の注意後のこと、手のひら返すように、出勤した日の毎日 午後7時から9時までの2時間を残業していたと9/1から5/31までの9ヶ月間 時間外労働賃金を請求してきたのでした。

労働基準監督署からは、7時から7時までに出来ると約束して採用したとしても、帰りの時間を確認していなければ、管理不行き届きになりますので、もし残業していなくても請求されれば払うことになりますと指導を受けました。故にその通り払いました。

唯々私は、教育者としてウソづくり事はいけません。職場を見ていて、出勤した毎日2時間の残業はあり得ないのです。嘘云う人に、食を1人でつくってもらう命を預かる厨房です。万一のこと命に関わることされて、ウソが通ってしまっでは取り返しがつきません。誠実になって欲しい思いで解雇予告通知書を出したのでした。

その様な経緯でしたのに、不法解雇の疑いだ、どう喝だとの一方的な新聞記事の報道です。政治的につぶされそうです。精神的に辛いです。しかし、何とか病気にならないように努めて、子ども達や市民の皆さんのために、強く優しく頑張るつもりです。お世話になっております市民の皆さん、心配おかけして心からお詫び申し上げます。

議会一般質問は 12月11日、12日です-----佐々木重信は11日 予定していますので、傍聴に来て下さい。質問事項は、二宮地区物部地域へのスマートインターチェンジ及び真岡の将来を決める総合マスタープラン計画について質問いたします。

“意見発表会” 令和6年4月21日（市民会館大ホールにて）開催します-----「市政を思い発言する会」5回目の談話会は、令和6年4月21日（土）午後1時30分、市民会館大ホールにて意見発表会として開催致します。来賓挨拶や応援演説でなく、真岡市がこうあって欲しい、こう云う施策は如何だろうかとの意見や考えを発言する発表会です。是非、意見発表してくれる方募っております。

誰々の推薦や応援の発言はご法度です。市に話しても話を聞いて頂けない、又発言しようとしても発言の機会がない、そんな方遠慮なく申し込んで下さい。役立つ意見発表会にしたいです。1人の持ち時間は5分前後、長くても7分位にまとめて頂ければ幸いです。よろしく、電話 0285-82-1255 又は下記までご応募お願いいたします。

● **会のホームページ-----**「市政を思い発言する会」のホームページが開設してあります。右のQRコードかアドレスにアクセスして、活用頂ければ大変嬉しいです。会の目的や議会での質問などが、記載してあります。是非、アクセスしシェアし応募して下さい。

QRコード



(<http://mukahatugen.stars.ne.jp>)

<ハコより充実を>

30数年前のハコモノづくりが、閉鎖や統合の小学校をうみ負の遺産になっています。それが今日の新庁舎周辺整備などがハコモノづくりと見られる要因でして、市民が不安を抱いているのです。無駄な施設にならぬように魂の入った整備と活用を注視し協力を惜しみません。

<医療と福祉と教育>

ご存知ですか、栃木県の脳卒中死亡率が、全国上位の常連でして真岡市も同様です。そのために、芳賀日赤初め医療機関と協力し医療福祉系の大学を誘致し医療と福祉と教育が、尚一層良くなってくれることを願っています。

<二宮にも夢を>

石坂市政7年で、東運動場等70億円、新庁舎85億円、新庁舎周辺43億円で真岡地区に約200億円。二宮地区には大きな予算が全くありません。不公平感をなくして、二宮と真岡と一緒に幸せを実感できる様に、二宮にもスマートインター等誘致し、活気と夢を与えましょう。

<子ども達のために>

真岡市の子ども達は元気です。笑顔がイッパイで輝いています。その子ども達に夢と希望と誇りを与える目標が必要です。高い教育に文化があり自然があって良い企業が立地している。子ども達のため、住んでみたい真岡市にしたいです。

20年後の真岡市をつくるマスタープランの地区別構想は、旧の真岡市（真岡、山前、大内、中村）と同様に、旧の二宮町（久下田、長沼、物部）の7地区にして、きめ細かい街づくりをする必要があります。

ご存知かと思いますが、都市計画マスタープランは、まちづくりのビジョンであり、まちづくりを誘導する羅針盤の役割を果たすものであります。即ち今回のプランの改定は、概ね20年後の真岡市の姿を描くもので、大切な重要な計画なのです。僭越ですが私、その決定をする都市計画審議会委員に委嘱されて、令和5年10月2日にマスタープランの改定の初審議会に出席いたしました。

初の審議でした、この初会議ですのに、次回の1月か2月の審議会で決定して頂くとの説明があり、今日の会議にて、改定案を出して欲しいとの要求でした。その様な短編急の審議はありません。今日参加し、初めてマスタープランの説明を頂いた審議会でもありますので、数回開くのが常識であります。少なくとももう1度は、審議会を開いて協議されるのが一般的です。そして、最後の1月か2月の審議会で成案を出され、都市計画マスタープランの改定を決定するのが審議会の流れであると要請を致しました。

また、マスタープランの地区別構想についてですが、地区の設定は、全体構想のまちづくりの方針を、地区の単位でよりきめ細かな観点から示すものとありますので、旧の真岡市の真岡、山前、大内、中村の4地区に、旧の二宮町の長沼、久下田、物部の3地区の7の地区別構想にすることが、市民に寄り添った構想案と思料されます。二宮地区を1にくくった5地区の案でなく、7地区にすべきであると進言いたしました。真岡を思いに二宮を考え、その様に強く要請いたしましたのでした。

歴史的にも文化的にも、真岡、山前、大内、中村の4地区と長沼、久下田、物部の3地区の7地区が、互いに協力して、今日の真岡市が存在するのであります。二宮地区の3地区を1にしてしまうとは、二宮地区をないがしろにしている様で理解できません。これでは、長沼、久下田、物部地区の特性や課題に対して、きめ細かい構想を打ち出せません。長沼、物部地区は村部として、中村、大内、山前地区同様に村部として捉え、久下田地区は、真岡地区同様に街部としての特性を打ち出す地区別構想にすべきであります。

二宮地区にスマートインターチェンジ誘致しよう（真岡にもう1つIC）

ご案内のように、真岡市には、美味しい農産物が沢山あります、綺麗な花卉等特産品も数々あります。これら農産物や工業団地の商品を集積し販売する体験型で、大型の道の駅を北関東自動車道沿いに設置し、県内や首都圏まで誘客し安くて喜ばれる日本一の総合的拠点施設をつくらうではありませんか。

そして、大型の道の駅に加えて、教育環境を高め健康を守る医療機関への投資を積極的に試みて、住んでみて本当に良かったと思われる真岡市に、グレードアップしようではありませんか。

今こそ、子ども達に夢と希望を与える具体的目標が必要です。スマートインターチェンジの誘致に合わせて、農産物や商品の総合的道の駅を北関東自動車道沿いに作りましょう。“なせば成る なさねば成らぬ 何事も” です。